

医学研究実施のお知らせ

厚木市立病院倫理審査委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】

開胸術後疼痛症候群に関する後ろ向き観察研究

【研究の概要】

■研究の目的

呼吸器外科領域手術後の合併症に開胸術後疼痛症候群（Post Thoracotomy Pain Syndrome : PTPS）が挙げられます。開胸術の創部に沿って出現し、少なくとも2～3ヵ月以上継続あるいは繰り返す疼痛で、開閉胸に関する肋間神経への障害が主因とされます。活動性や生活の質を低下させる要因となり得ますが、予防や治療の方法は確立されていません。

本研究では、既存の術関連情報を整理検討することにより呼吸器外科手術での開胸方法の差異等におけるPTPS発症頻度を検索し、よりPTPS発症が少なく低侵襲な開胸方法を検討する事を目的とします。

■研究期間

倫理審査委員会承認後～2020年12月末日

■対象となる方等

2017年4月から2020年3月までに厚木市立病院外科において開胸または胸腔鏡視下に呼吸器外科手術を行なった方を対象とします。

ただし、上記対象者のうち、対象者本人または代理人の方から拒否の意思表示があった方、他疾患で鎮痛剤を常用している方は、研究対象から除外します。

■研究に利用する試料、情報等

試料：当研究のための新たな試料の採取は行いません。

情報：2017年4月から2020年3月に当院外科において開胸下に呼吸器外科手術を受けた方を対象とし、年齢、性別、喫煙歴、術後診断、手術方法（肋間神経温存方法、肋骨切除の有無、閉胸時肋間神経温存方法）、胸腔ドレーン留置期間、術後合併症、術後2ヵ月及び3ヵ月時点での鎮痛剤投与の有無に関する既存情報を収集します。

■他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

当院以外に個人識別ができる情報の持ち出しは行いません。

【問い合わせ先（対応時間：平日 9:00～17:00）】

厚木市立病院 外科 副院長 増渕 正隆 電話 046-221-1570

東京慈恵会医科大学 外科 平野 純 電話 03-3433-1111（内線 3403）

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。